

# 経営比較分析表

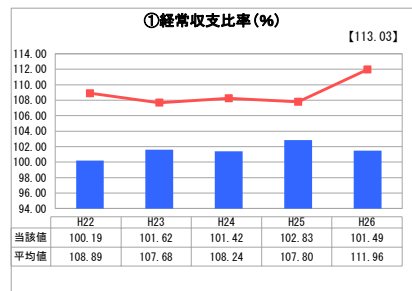
兵庫県 三木市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	96.71	99.79	2,592

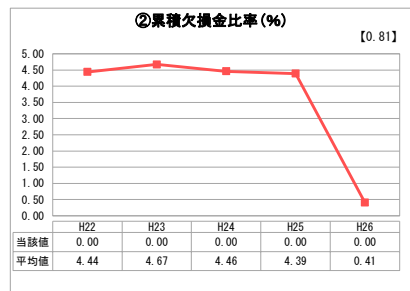
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
79,763	176.51	451.89
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
79,316	139.70	567.76

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成26年度全国平均

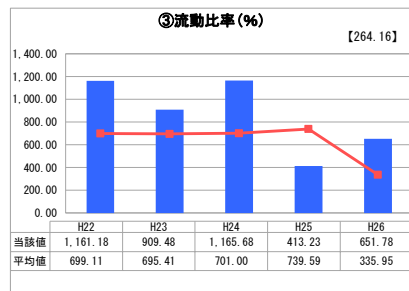
## 1. 経営の健全性・効率性



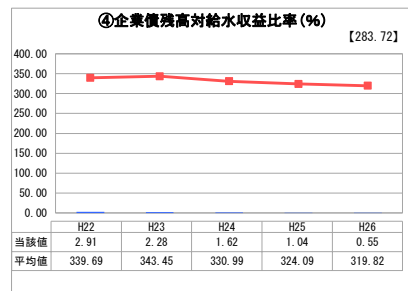
「経常損益」



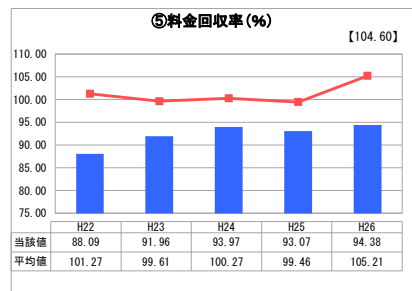
「累積欠損」



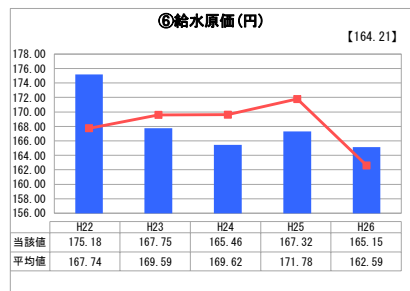
「支払能力」



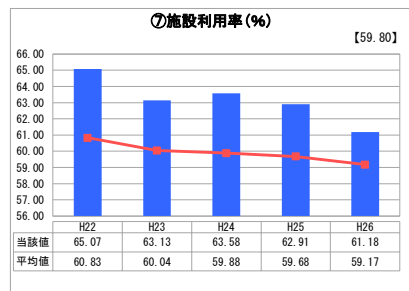
「債務残高」



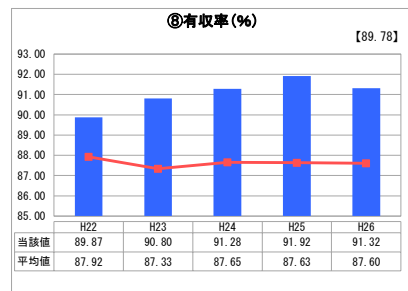
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

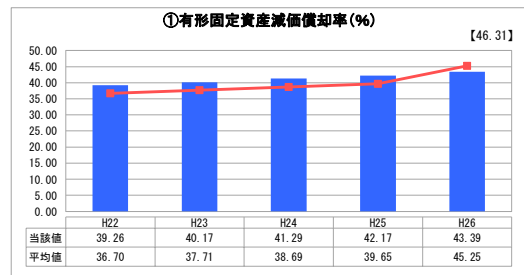


「施設の効率性」

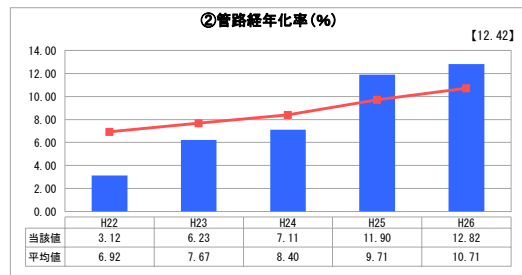


「供給した配水量の効率性」

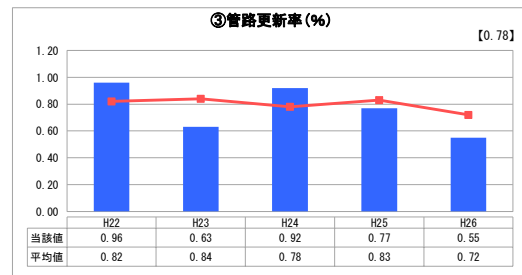
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 自己資本構成比率は、96.71%に達し、自己資本による経営を確立している。
- 流動比率は、651.78%と平均値の約2倍を確保し、高い流動性を保持している。
- 企業債残高対給水収益比率は、0.55%と「借入金」に依存しない経営を進めている。
- 料金回収率は、94.38%と100%を下回っているが、経常収支比率は、常に100%以上を確保し、黒字経営を継続している。(累積欠損金は存在しない。)
- 財務状況及び収支状況ともに、健全性を確保し、効率的な経営を行っている。
- 施設利用率及び有収率ともに平均値を上回っており、効率的な施設利用ができています。

### 2. 老朽化の状況について

- 平成26年度の新設を含む布設延長は、7,876m (1.26%)になる。
- 三木インフラメンテナンス計画により管路更新は、年間1% (7km) とし、老朽塩ビ管路を重点的に更新していく。
- 老朽塩ビ管路 (VP管) の延長は、170km (27%)あり、年間7km更新で、25年間で更新予定である。
- 全管路の耐震化率 (耐震を有する管を含む。) は、24.8%と低いが、配水幹線の耐震化率は、68.2%を維持している。
- 耐震化の考え方は、配水池を優先的に耐震構造へ更新している。
- 平成26年度末の配水池の耐震化率 (容積率) は、94.1%になる。

### 全体総括

- 平成28年度には、企業債を全て償還し「有利子負債ゼロ」の健全経営を達成する。
- この健全経営の確保を基盤に、計画的な管路や施設の更新を進めていく。
- 人口減少や需要量の低迷という厳しい環境が続くと想定されるが、健全経営を維持し、安全で安定した水道水の供給に努め、市民から信頼される水道事業を目指す。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。